

企業が成長するうえで、優秀な『人財』の確保は不可欠です。しかしながら、運送業界では人手不足が大きな課題であり、ドライバーをはじめスタッフの確保・育成・定着に向けた取り組みはますます重要になっています。

そこで今回は企業概要や魅力を伝える会社説明会に、どのような開催告知広告を打てば多くの求職者に足を運んでもらえるのか、そのポイントについて株式会社 船井総合研究所の河内谷庸高氏に解説してもらいます。



## 重要性が高まる会社説明会

以前、本コラムで会社説明会を活用した求人募集方法の有効性を紹介しました(2017年10月号)。いきなり面接ではなく、会社説明会を開催することによって応募ハードルが下がり、求職者が集まりやすくなるのです。例えば住宅や車の購入でいうと、初回で購入する人はおらず、必ずモデルルームの内見や試乗といったステップをはさむでしょう。それと同様に転職という人生の重大な決断をするにあたり、いきなり面接を受けるよりも、まずは話を聞いてみてから検討したい、という求職者が多いのです。

また、超売り手市場の現在だからこそ、求職者はシビアに会社選びをしています。企業側も中途採用の場合でもいきなり面接するのではなく、まずは会社説明会を通じて、情報を伝えるという手法は今後さらに重要性を増してくるでしょう。

それでは、具体的に会社説明会へ誘導するためには、どのような開催告知広告を打てばよいのでしょうか。広告で伝えるべきことは大きく分けて2つです。それは、次で紹介する「会社説明会に参加することのメリット」と「会社説明会に参加するハードルの低さ」です。

## 参加メリットを具体的かつ明確に

会社説明会とは、企業が求職者に向けて理念や事業内容などをPRし、試験や面接へ進んでもらえるように興味を持たせる場です。そのためにも、会社説明会開催の告知は重要です。告知広告には、下記のように「参加するメリット」を具体的かつ明確に入れると効果的でしょう。

### 会社説明会への参加メリットを記載した、告知広告の例

#### 例① 実務で使用するトラックや倉庫を見学することができます！

「〇〇運送の会社説明会では、ただ座って説明を聞くだけではありません。実務で使用するトラックの運転席に座っていただき、車内や安全設備機器などをご覧いただけます。また最新設備が整った倉庫の見学も可能です！」

#### 例② 仕事場の雰囲気がよくわかります！

「実際に入社しないと会社の雰囲気がわからないという不安があると思います。そこで会社説明会では、点呼場や休憩室、職場内も見学してもらい、職場見学を通じて実際の雰囲気を感じていただけます！」

#### 例③ 面接ではないので、気軽に質問できます！

「会社説明会は面接とは全く異なり、ざっくばらんに気になることを質問することができます。どのような些細な質問でも結構です！不安点・疑問点を解消してください！」

## 会社説明会参加へのハードルを下げる工夫を

そもそも会社説明会に参加するハードルは、普通の面接に比べれば低いもの。しかし、次のような具体的な文言を開催告知広告に入れることで、より参加しやすくなるでしょう。

### 会社説明会への参加のハードルを下げる、告知広告の例

#### 例① 履歴書は不要です！

「〇〇運送の会社説明会は面接ではないので、履歴書は不要。まずは弊社のことを知ってください！」

#### 例② 話を聞いて、興味がわかれば当日面接も受け付けています！

「もし、話を聞いて興味を持っていただければ、説明会後に面接を受けていただくこともできます。もちろん話を聞くだけでもOKです！」

#### 例③ 服装もスーツではなく私服参加でOK！

「説明会には気軽に私服で参加してください！堅苦しいスーツの必要はありません！」

#### 例④ ご家族やご友人との同伴参加もOK！

「転職は、ご家族にとっても重要な人生の選択です。そんな選択を自分ひとりで決めるのは…という方に朗報です。当社の会社説明会では、ご家族やご友人との参加もOK！ぜひ一緒に参加してください！」

もし、まだここまで大々的な開催に踏み切れないという企業の方は、「とりえず会社説明・見学だけ希望の方も受け付けています。お気軽にお問合せください。求職者の方のご都合に合わせて、いつでも会社見学が可能です」というような文言を掲載するだけでも、反響が変わります。特定の日を決めずに、希望があれば個別対応するところから始めてみてください。